

緑友 だより

No. 16

全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11 (社)日本印刷技術協会

消灯のトラムペット

思い出していただけますか——就任のとき私は、
「一隅を照らす」灯でありたいと申しあげました。

白 石 豊

福岡総会で幹事長をお引受けして2年、思えばなにもなすことなく過ぎました。申しわけないこととございます。

愚かな身には、この大任は重すぎましたが全国の幹事諸兄のお力添えをえて、大過なきを得ましたことは、ありがたい幸せです。またこの間絶えず惜しまぬ努力を払われた常任幹事・監査の皆様、心からお礼を申しあげます。

また、忘れられないのは、初代幹事長市村さん、前々幹事長土井さん、前幹事長小堀さんのお三人です。この方々の終始かわらぬ暖いご助言がなかったら、私はとんだ過ちを冒していたかもしれません。

この2年間でふりかえってみますと、緑友会をめぐる思い出は、たのしいことばかりですが印刷産業は40年の不況を克服して、42、43年と近代化計画後半戦に入り、経営の合理化、生産性の向上めざして、すさまじい努力が払われた時期でありました。

同時に矛盾の激化も、すさまじいもので、高まったのは装備率、借入金、支払利息。高まらないのは、利益率、附加価値生産性でありまし

た。企業間格差はひらき、競争とみに激しく、人件費と諸経費の高騰を、吸収できない企業は危くなってきて、「あの会社が？」と疑われるような名門にも、倒産の噂が囁かれるまでになりました。

そしていま、全国の経営者をとらえているのは自信喪失、不安焦燥の、精神病的徴候です（健康なあなたは、稀な例外なのですゾ……）。

その言い方はオーバーだと仰言るなら、こう言い直してもよい。

——2年先の企業成長に確固たる自信のある経営者はいないでしょう……と。

そのような時代に、われわれ緑友会は創立10周年をむかえ、おくりました。内蔵する問題としては、10年目の緑友会に、静かな世代の交替が起ったことでした。O・Bは全国各地のリーダー、実力者となって忙がしすぎ、新人は緑友会の同志的連帯感がしかと肌で感じられない。

理想追求と現実把握がうまく噛みあわず、思索と行動が連動しない……そんな転向点に立つとき、古人の「初心に帰れ」という忠告が生きて参ります。

創立時代の初心に立ち戻って考え直してみよう……私はこう考えました。初代幹事長市村元偉さん、二代幹事長大川俊郎さん、このお二人の頃その秀れたプレーンとともに、はじめに定着された思想を、機会あるごとに、到るところで説きました。

一言にして申せば、「高邁にして謙虚」な精神と行動によって、「天職」の意識のもとに、印刷産業を通じて社会に奉仕する。

そして、青年を中心とする団体らしく、つねに前進的であること（進歩的、革命的と云っていないのは心がやさしいからである）。

緑友会の同志的連帯感は、まさに、ここのあるのです。緑友会を誇りとし、ありがたく思いますのは、この一点に心のかよう友だちを、全国各地にえたからです。

私の説くまでもなく、緑友メンバーは、その思考と行動の軌跡を、ますます鮮明にしております。ですから 12,000 の経営者の自信喪失時

代こそ、困難な時代でありますだけに、900 の緑友メンバーに寄せる期待は大きいのです。

智者は惑わず

勇者は恐れず

とは、流れてゆく弓を生命をかけて拾う屋島の義経ではなく、あなたに求められていることとございます。われわれは一緒に経営学、未来学をやりましたが、この2行になり切れたら、経営学未来学はお呼びでない。構造改善でも何でも持ってこい。大事なことはこの2行のほかには、南無阿弥陀仏、即身成仏しかありはしないかと思えます。

幸いに敬愛する大智・大川英郎新幹事長のお導きにより、成仏するまでがんばりぬきましよう。

最後に、任期中の思い出の土地——福岡・熱海・仙台・札幌・犬山・神戸・東京——と、そのホスト・グループのみなさんへ、心からの「ありがとう」を申し上げます。



ご あ い さ つ

新幹事長 大川英郎

“ぶっつけ本番”は緑友会の伝統？ というところでしょうか、私が幹事長をやれといわれたのは、役員改選をひかえた文京総会前夜のこと、当然といっは申訳ありませんが、私には心の準備もないし、自信もないまま“セッパツマッタ”状態でお引受けするはめになりました。大変無責任な話で恐縮ですが、多士済々の緑友会メンバーの御協力を得て、多少なりともお役に立つよう努力する決心をかためておりますので、どうかよろしくお願い致します。

私は緑友会は大変素晴らしい会だと思います。その理由を別に深く考えたことはありませんが強いて問われるなら、全国に同じ宿命を背負っ

た秀れた友達を数多く持つことが出来たからと答えるでしょう。印刷は地場産業ではないといわれるけれども、ふだんは狭い地域社会からなかなか出る機会に恵まれないので、毎年全国各グループまわりもちで開かれる緑友会の主要行事に参加することは、大きな魅力ということが出来ます。

私は緑友会の使命や目的に就いて、あんまりむづかしく考えたくないと思います。今まで通り、のびのびとした気持で、会の性格をのばせば良いと考えています。それにしても、緑友会の組織の無い地域がまだまだ沢山あります。これらの地域に組織が生れるよう努力したいと思

います。全国印刷緑友会は、全日本印刷工業組合連合会の二軍組織ではありませんが、少くとも各県1グループ程度の組織化が出来ることを期待します。ぜひ御協力下さい。

緑友会も創立12年めを迎え、各地で新旧交替の時期を迎えているようですが、もっともっと組織を充実させ、後から来る若い人達に確実にバトンタッチが行われるよう、オールポイは頑張ってください。

燃えるような情熱を緑友会に捧げた白石前幹

事長の跡を受けて、しけたマッチのような人間が登場しました。なんとかお役に立ちたいという気持だけはございます。間違った方向に船を進めるようなことがありましたら、どしどしお叱言を頂戴したいと思います。

最後に、2年間に亘り熊本という地理的ハンデをものともせず、緑友会のため、モーレツに尽力された白石豊氏に対し、皆さんにかわって心から敬意と謝意を捧げたいと思います。

第12回 定期幹事総会報告

日時 昭和44年4月20日(日) 9.00~18.00
場所 東京 文京印刷会館 会議室
出席 18グループ 82名(構成グループ 26)
オブザーバー 3名
報道 1名

第一部 (10.00~11.00)

総会
開会の辞 文京緑友会 松本喜美雄
司会 札幌緑友会 藤田 俊雄
幹事挨拶 白石 豊
グループ紹介
祝辞

東京都印刷工業組合顧問 長宗 泰造
東京都印刷工業組合文京支部長 利根川政次
議事 議長 神戸印刷若人会 武 重治

1. 昭和43年度事業報告 白石 豊(承認)
2. 昭和43年度収支決算報告(中村会計監査より監査報告) 高橋 茂(承認)
3. 役員改選の件(議長一任)
44年度幹事長

神奈川正和会 大川英郎(選任)

// 常任幹事グループ

札幌緑友会、仙台刷親会、文京緑友会、印刷同友会、名古屋而立会、長野青年印刷人緑友会、大阪青年印刷人クラブ、福岡印刷若葉会(8グループ)

幹事長指名幹事

高橋 茂(印刷同友会)、小堀正三(東京写真製版若葉会)、武 重治(神戸印刷若人会)、白石 豊(熊本プリンティング・クラブ)、山形長興(神奈川正和会)

会計監査 舟橋 正(岐阜翠陽クラブ)、
三淵 満(久留米緑友会)(承認)

4. 44年度事業計画案の件
慣例により前幹事長 白石 豊(承認)
5. 44年度収支予算案の件 高橋 茂(承認)
6. 大会開催地の件 白石 豊
熊本市民会館(熊本プリンティング・クラブ)に決定 10月25日(土)(承認)
7. 夏季セミナーの件 小林 行昌
総会、大会の中間をとり、8月乃至9月の日時、場所を常任幹事会に付託し、決定次第発表する (承認)
8. 新入会員承認報告の件 三淵 満
43年度第2回常任幹事会にて、下記グループの入会を承認したことを報告
佐賀県印刷人若楠会
代表者 武富 英雄
会員数 19名
事務所 佐賀市城内2-3-19
佐賀県印刷工業組合内

9. 規約改正の件 提案 白石 豊

(1) 規約

第3条 本会は事務局を(社)日本印刷技術協会におく とあるを
本会は事務局を常任幹事会の指定する場所におく と改めたい

《提案理由》

幹事長が地方にあるとき、会員相互間、あるいは、外部よりの連絡が、事務局を通して伝えられるため、事務の緊急性を欠く。(承認)

(2) 規約

第12条 役員の任期は2カ年とする。但し再選をさまたげない とあるを

役員の任期は1カ年とする と改
めたい

《提案理由》

昨今の印刷業界の状況を鑑み、緑友は、若い幹事長を1カ年ごとに選出し、対処していく必要がある。

この提案に対しては、質問（小林幹事）、反対（中畑幹事）等があり、審議を午後に移し、次のように決定した。

第12条 役員の任期は2カ年とする。但し再選はさまたげない。とあるを幹事長、常任幹事および会計監査の任期は2カ年とする。但し再選をさまたげない。とする（承認）

10. その他

- (1) グループ呼称変更 高橋 茂
久留米プリンティング・クラブ を
久留米印刷緑友会 と改める。
- (2) 前幹事長、白石 豊氏に在任2カ年の御努力を謝し、記念品を贈りたい。（承認）
- (3) 各グループ代表者変更
久留米印刷緑友会 岡本 偉
仙台刷親会 丸谷慶二郎
岐阜翠陽クラブ 大野 郁郎

名古屋而立会 大橋 正史
印刷同友会 馬場 誠司
神奈川正和会 行木 郁夫
神戸印刷若人会 中畑 裕行

第 二 部 (11.00~16.30)

1. 記念講演 (11.00~12.45)

講 師 立教大学教授 加藤 誠一
演 題 「中小企業の問題について」

2. 討 論 会 (13.30~15.00)

「印刷業界の問題は何か」
——構造改善問題を中心として

講 師
構造改善対策本部総務班長 塚田 益男
パネル

丸谷慶二郎（仙台刷親会）
中畑 裕行（神戸印刷若人会）
杉 田 司（長野青年印刷人緑友会）
中村 昭治（福岡印刷若葉会）

司 会

大川 英郎（神奈川正和会）

質疑応答 (15.15~16.30)

第 三 部 (17.00~)

懇親パーティ 於 茗溪会館
解 散

文京総会をかえりみて

文京緑友会幹事長 松本喜美雄

此の度の総会におきましては遠方より各グループの方々多数御参加頂き、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

私共がホストグループとして指示頂きましたのは、昨年秋の神戸大会直前で、当時幹事長をしておられた白石氏より連絡のあった事に始まります。

文京と致しましては過去において此のような会合には度々参加致しましたが、今回のように裏方として動くのは初めてのために、どの程度の準備をしてよいかまったくわからないままともかくお引受けいたしました次第です。

その後の準備において結婚シーズンとも重なり、日取り、場所の選定に苦勞致しましたが、最終的に文京印刷会館と決定したときは、予算面を始めとして他のすべてにおいてホッとした状態で、唯この準備中に感じた事は過去の総会の記録を拝見致しますと、そのホストグループがそれぞれ苦勞されている事が感じられましたが、予算面においては各々の総会費用の格差が大分あったようで、この点は標準化する必要性を感じましたが如何でしょうか？ 十分な準備も出来ないままに迎えた当日は、不行届きの点も多々あった事と存じますが、紙面を以って深くお詫び申し上げます。

尚、総会も御蔭様で無事終了致しました事を感謝すると同時に、今後の皆様の会の発展を心よりお祈り申し上げます。



緑友会 定期幹事総会

日時 昭和44年4月20日(日)

場所 東京文京印刷会館会議室

出席 18グループ 82名(構成グループ 26)
オブザーバー 3名 / 報道 1名



総会記念写真・業界のホープ

■第1部

挨拶・一隅を照らす白石幹事長



祝辞・長宗東印工組顧問



利根川文京支部長



挨拶・いささかあがり気味 大川新幹事長



■議事及び第2部討論会

サッソウたる武議長（神戸印刷若人会）



決算報告・ベテラン高橋常任幹事（印刷同友会）



記念講演・加藤誠一立教大学教授



討論会・文字通り東奔西走の塚田構改総務班長



→ 総会々場・文京印刷会館



乾杯・青年!! 市村初代幹事長



■第3部 懇親パーティ

パーティ会場・若溪会館



会旗・松本幹事長(文京)から
白石代表(熊本)へ

44年度夏期セミナー

44年度夏期セミナーは下記の通り日程を決定しました。

詳細は7月5日開催の常任幹事会で決り次第お知らせします。

ぜひとも多数の御参加を期待します。

日 時	8月23日(土) 13時より 8月24日(日) 12時まで
場 所	京都・比叡山ホテル
テーマ	構改は業界を救うか!!
会 費	8,000円

文京緑友会のメンメン……おつかれさまでした



全国印刷緑友会会員名簿

昭 44. 6. 30 現在

番号	グループ名	事務所所在地	代表者名	TEL	人員
1	札幌緑友会	札幌市北三条西2 藤田印刷所	藤田俊雄	(0122)22-4111	22
2	秋田昭和会	秋田市大町3-5-30 秋田県印刷工業組合内	相沢隆一		22
3	山形印刷研修会	山形市六日町4-3 田宮印刷所	石沢重夫	(02362)2-6291	29
4	仙台刷親会	仙台市伊在白山印刷団地内	丸谷慶二郎	(0222)57-6185	56
5	茨城緑友会	水戸市上水戸2-3-1 川島紙店	大塚誠治	31-2347	27
6	群馬緑友会	前橋市大平町2-4-1 上毎印刷株式会社	小口高秀		18
7	印刷同友会	東京都千代田区神田多町2-7	馬場誠司	(03) 251-1667	113
8	文京緑友会	東京都文京区大塚4-39-13 文京印刷会館内	松本喜美雄	(03) 946-4454	66
9	東京活字鳳友会	東京都千代田区三崎町3-4-9 宮崎ビル	斎藤実	(03) 265-3786	11
10	東京写真製版若葉会	東京都千代田区三崎町2-10-11 製版会館	青柳恒夫	(03) 261-2558	68
11	神奈川正和会	横浜市南区永田町1178 大川印刷所	行木郁夫	(045)731-3664	25
12	新潟印刷新世会	新潟市川端町5 旭光社	本間吉平	(0252)29-2506	28
13	長野青年印刷人 緑友会	長野市七瀬中町212 長野県印刷会館	杉田司	(02622)6-3279	38
14	名古屋而立会	名古屋市東区高岳町2-2 愛知県印刷工業組合	大橋正史	(052)962-7061	46
15	岐阜翠陽クラブ	岐阜市長森蔵前603 日新印刷株式会社	大野郁朗	(0584)78-3687	35
16	神戸印刷若人会	神戸市生田区下山手通り5-21 印刷会館	中畑裕行	(078) 34-3857	27
17	広島緑友会				
18	福岡印刷若葉会	福岡市舞鶴1-2-25 九州印刷文化社	中村昭治	(092) 78-7766	46
19	北九州YPクラブ	北九州市小倉区下道津9丁目 日進印刷株式会社	貞末敏郎	(093) 69-0536	15
20	久留米印刷緑友会	久留米市瀬下町38 中央印刷	岡本偉	(09422)1-0388	16
21	熊本プリンテイング クラブ	熊本市水前寺本町 水前寺印刷	橋本保正	(0963)66-0101	17
22	大阪青年印刷人 クラブ	大阪市東区淡路町1-7 印刷の世界社	岩岡敏志		59
23	大阪写真製版二世会	大阪市東成区大今里町2-754 吉谷商会	中島敏春		15
24	下関青年印刷人 緑友会	下関市南部町8-6 早鞆印刷株式会社	泉和夫	23-6226	13
25	佐世保印刷若汐会	佐世保市瀬戸越町260 隆文社内	井上実		10
26	佐賀県印刷人若楠会	佐賀市城内2-3-19 佐賀県印刷工組内	武富英雄		19

事務局 東京都杉並区和田1-29-11 日本印刷技術協会内 ☎ 166 (03)383-3111

編集後記

熊本の白石前幹事長の手元で編集発行されていた緑友だよりは、本号から横浜にスイッチされました。もっと早く出し度いと考えていたのですが、いろいろな事情で遅れ、どうせなら夏期セミナーの概要が決定してからということ、ようやく皆さんの手元へお届け出来ることになりました。

今までの緑友だよりも掲載されていたように、これからも各地グループの動きを紹介したいと思えます。どうかお便りをお寄せ下さい。その他投稿を歓迎します。

編集責任 幹事長 大川英郎
発行 全国印刷緑友会事務局

機関誌「緑友だより」 第16号 昭和44年6月30日発行 全国印刷緑友会